

公益社団法人 日本技術士会中部本部 電気電子情報工学部会
年次大会および 6 月度例会のご案内

【主催】中部本部 電気電子情報工学部会

当部会では、定期的に例会（講演会、オンライン講演会、見学会）を実施しており、今回 6 月度の例会（年次大会、講演会）を下記のように企画しましたのでご案内申し上げます。

今回は、「入手容易な機材やソフトを活用した回路設計」と「スマートフォンを活用した位置推定・行動認識」に関する 2 件の講演です。中部本部 電気電子情報工学部会の会員に限らず、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

1. 日時：令和 5 年 6 月 10 日（土） 13:30～17:20
2. 場所：技術士会 中部本部 会議室（定員：12 名）、および Teams によるオンライン講演会
・技術士会 中部本部 会議室：名古屋市中村区名駅五丁目 4 番 14 号 花車ビル北館 6 階
（地下鉄 国際センター駅下車、泥江交差点角、J R 名古屋駅からユニモールを徒歩 10 分位）
・中部エレクトロニクス振興会会員、学生、一般はオンライン参加でお願いします。
・Teams 参加者には 6 月 7 日（水）以降に Teams 参加 URL をお送りします。
3. プログラム（講演の概要については 2 ページ目に記載）
13:15～13:30 年次大会 Teams 受付
13:30～14:00 中部本部電気電子情報工学部会 年次大会
14:00～14:10 一般 Teams 受付
14:10～14:15 開会、伝達事項
14:15～14:20 開会の挨拶
14:20～15:20 講演 1: 1 万円で買える機材や無料ソフトで学ぶ電気電子情報技術
講演者: 山下 洋一 氏（日本車輛製造(株) 鉄道車両本部 技術部）
15:20～15:40 休憩
15:40～17:10 講演 2: 様々なセンサを用いた位置推定・行動認識とその応用システム
講演者: 梶 克彦 氏（愛知工業大学 情報科学部 情報科学科 准教授）
17:10～17:20 開会の挨拶、連絡事項 他 閉会
17:40～19:00 交流会（会議室参加で希望者のみ、会費：4,000 円、場所：未定）
講演会配布資料、CPD 票につきましては、後日連絡申し上げます。
4. 例会参加費用：
技術士会会員、中部エレクトロニクス振興会会員会社の方：1,000 円
学 生（社会人学生および技術士(補)でない方）：無 料、 一般（会員外）：2,000 円
5. 申込み先

申込みは 6 月 5 日（月）までに、下記の Web フォームからお願い致します。（クレジットカード/paypay 払い）
<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01nmsnnyq131.html>
現地参加の方につきましては交流会の参加について別途確認させていただきます。

キャンセルする場合は、メール：DIB_uketsuke@googlegroups.com、

当日キャンセルは携帯：090-5879-5307（竹内）まで、氏名、部門、会員・非会員の区別をご連絡下さい。
事前にご連絡いただけない場合は返金できません。

なお、準備の都合上、参加申込みは期限までをお願い致します。

定員に達した場合、参加頂けない場合がございますのであらかじめご了承ください。

【講師のご経歴と講演概要】

① 山下 洋一 氏

【ご略歴】

1959 年 三重県生まれ
1981 年 名古屋大学 工学部電子工学科卒業
1983 年 名古屋大学 大学院修士課程電子工学専攻修了
同年 日本車輛製造株式会社入社
2001 年 技術士 登録 (電気電子部門)
2005 年 総合技術監理部門 追加登録
2019 年 日本車輛製造株式会社 定年退職、再雇用入社
現在 日本車輛製造株式会社 鉄道車両本部 技術部勤務
この間 無人搬送システムの開発、橋梁架設支援システムの開発などに従事
近年は台湾特急電車の旅客案内システム改良を担当

【講演概要】

題 目： 1 万円で買える機材や無料ソフトで学ぶ電気電子情報技術
NanoVNA や TinySA、RaspberryPi など市中やネットショップで 1 万円程度で手軽に入手できる機材や LTspice など無料で使用できるソフトウェアを用いて電気電子情報技術のレベルアップにつなげようという取り組みです。

元々は個人的興味により始めた事柄ですが、技術者育成にも役立つと考え勤務先社内にも展開しつつあります。講演では、これらの中から NanoVNA を用いた回路測定と LTspice による回路シミュレーションを取り上げ、それぞれデモを交えて紹介します。

② 梶 克彦 氏

【ご略歴】

2002 年名古屋大学 工学部電気電子工学科卒業。2007 年同大学 大学院情報科学研究科博士課程修了博士 (情報科学)。NTT コミュニケーション科学基礎研究所 リサーチアソシエイト、名古屋大学大学院工学研究科助教を経て、2015 年より愛知工業大学 情報科学部准教授。位置情報システム、コミュニケーション支援の研究に従事。

【講演概要】

題 目： 様々なセンサを用いた位置推定・行動認識とその応用システム

見通しの良い屋外では GPS の電波を用いた高精度な位置推定が可能になっていますが、屋内や地下街など GPS 電波が反射・減衰してしまうような環境では高精度な GPS 測位は期待できません。近年ではだれもが携帯するようになったスマートフォンには、加速度・角速度・気圧センサといった様々なセンサが搭載されています。それらのセンサ情報を利用すれば、屋内にいる人が、今どこにいて、何をしているのかを推定する手がかりになります。講演者はこれまでに様々な屋内位置推定・行動認識技術に関する研究を行っており、それに基づいて位置情報サービス・インタラクティブシステムを構築してきました。今回の講演ではそれらの研究成果を中心にご紹介します。研究成果の中には、一般的な解法ではない意外な手法を用いたものや、一般的にはたどり着かないであろう意外な応用を発見した事例が含まれています。聴講される方の刺激になれば幸いです。

<以 上>